

kokyoso tsushin

高教組通信 No. 7

2013年7月2日
兵庫高教組書記局

URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com> E-mail: honbu@hyogo-kokyoso.com

私たちが県知事選挙でできる活動は？

1. 私たちができる活動

(1) 集会や学習会に参加できます。

県民集会に参加できます。

地域の集会に参加できます。

職場で分会などの企画した学習会に参加できます。

(2) 知事候補の政策に対する意見や要求を表明できます。

分会ニュースなどに政策を自由に書くことができます。

兵庫県政への要求を自由にまとめることができます。

県政のことが書かれた高教組ニュースや分会ニュースを教職員に配布することができます。

ビラや政策を読み、疑問点や要望をまとめることができます。

学習会の資料を自由に作るすることができます。

(3) 知事候補の政策を広く宣伝する活動に参加できます。

地域のビラ配布に参加できます。

ビラの仕分けやビラ折りなどの仕事を手伝うことができます。

ビラ配布のために車を出したり、運転することができます。

宣伝カーを運転し、テープを流すことができます。

(4) 知事選挙について、幅広い対話活動ができます。

高教組に加入していない方に、県政への要求を聞きまとめることができます。

家族や親せきの方に、知事選挙について話をするすることができます。

卒業生に電話をしたり、その台帳を整理することができます。

電話帳を利用して自由に電話で対話できます。

対話が苦手な方は、対話相手を紹介することができます。

(5) 自宅や電話を貸し出して利用してもらうことができます。

(6) カンパを集めることができます。バザーに物品を自由に提供できます。

2. 公選法で公務員が選挙活動で制限を受けることがら

「公務員の地位を利用した選挙活動」が禁じられています。

教員の場合は、在籍している生徒や保護者への選挙活動ということです。

3. 選挙活動への不当な妨害は、みんなで跳ね返しましょう！



「県政要求カード」わたしの願い

わたしの願い

私は高校の学区変更に反対です。
人口減少地と省庁部とで同じ学区にするのは、大きな問題があります。新しい学区制度の凍結を望みます。

わたしの願い

教育予算が年々削減され、特別支援学校はニーズが高くなり、
理学療法や言語・視覚指導・音楽療法、特別支援教育の研究が
行われていく中、非・スクールの選択（出張訪問）の制限が、
個別学習や校外での体験学習も減っています。
身体不自由の生徒の集まるインテグ（低床）ではロビー、重慶の生徒
はスクールバスで帰るしかありません。保護者が送迎している状態です。一部の
大企業に莫大の金額を支払って、これ以上に光を当てたい。

わたしの願い

福祉・教育を大切にして、
平和に生きる権利を
守り抜いてください。

わたしの願い

私ははいづれでも正規職員です。
私たちの生活の安定のために、どうか
正規職員として雇用をお願いします。

わたしの願い

「民主主義」は「多数派を優先するもの」ではない。
「人が人として生きている所」には必ず人が住んでいる。その
人々を見捨てない、切り捨てないでサポートすることが民主主義
であり、これが日本の発展につながる。
少数派の存在に賛成です！

わたしの願い

子ども達に、安全安心、神々しく、
生活できる学校にするため、必ず
人・物と現場サイド、子どもサイドで
考えて、配置してください。

わたしの願い

今憲法改正の危険な動きが加速
しています。
是非憲法を守り抜いて。

わたしの願い

平和・命・働く権利を県政に！
・教育予算の増額を！
・市民の生活を守る後援を！
・Safety Netの充実を！
・臨時講師を正規職員に！

わたしの願い

学校の規模を縮小に促せる入学生、在校生の
増加に、現場は悲鳴を上げています。
児童生徒が安心して学べる環境にしてほしいです。
・給料カットで、勤労意欲が下がっています。
大幅にアップしてほしいです。

わたしの願い

正社員として働きたい者全ての雇用が、
約束の子供県政に進んで欲しい。親の
雇用不安が、子どもに影を落としていきな